様式第１号（第１０条関係）

2024 年度業務実績報告書

提出日　2025 年　1 月　9　日

１．職名・氏名　　教授　岩谷久美子

２．学位　　学位　博士、専門分野　保健学　、授与機関　金沢大学、授与年　2016 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 母性看護学（2 単位）3 年次前期
②　内容・ねらい 妊娠期・分娩期・産褥期の母親とその子（胎児・新生児）の身体的・精神的・社会的側面からその特徴を概説し、ウエルネスの概念に基づき、健康上の強みを視点に於いた看護の必要性と具体的援助について講義を中心として学習の場とする。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 オムニバスで担当するので、お互いの授業の視聴により担当した授業において関連づけながら講義をする。またこの科目が母性看護学実習に直結することから実習記録を授業で活用したり、実習に役立つ技術を中心に取り入れた。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 母性看護学演習（1 単位）3 年次前期
②　内容・ねらい 妊娠期・分娩期・産褥期の母親とその子（胎児・新生児）の身体的・精神的・社会的側面からその特徴を理解し、看護過程を通してアセスメントする視点を学ぶ。さらに演習により、母性看護の対象に対する具体的援助の実際について学び、母性看護の役割を理解する。また母子保健に関して国内だけでなく、海外の看護活動から、現状や課題を考察できる機会とする。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 オムニバスで担当するので、お互いの授業の視聴により担当した授業において関連づけながら講義をする。またこの科目が母性看護学実習に直結することから実習記録を授業で活用したり、実習に役立つ技術を中心に取り入れた。また、海外における母子保健の現状・課題として現在フィリピンで助産院を開業している方に特別講義をしていただいた。 【ゲストスピーカー　1 名】
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 母性看護学概論（1 単位）2 年次後期
②　内容・ねらい 母性看護の基盤となる概念（母性・父性・親性など）と母親および父親の役割取得と発達、女性のライフサイクルに応じた発達課題について教授する。さらに、現代社会の中に産むことと子育てに関する現状と課題を提示し、母性看護学の特徴・役割ついて教授する。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 周産期に限定せず、女性の一生とその家族を中心とした概念を説明し、また日本や世界の母性看護に関する多方面からの動向や問題点を提供し考える場とした。特に授業における疑問や感想を毎授業ごとに確認し、もらすことなく回答するように心がけた。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 母性看護学実習（2 単位）3 年次後期
②　内容・ねらい 母子とその家族を対象として看護を実践する。実習では、周産期の経過や対象の背景を把握し、知識を統合した看護アセスメント・看護計画立案と看護実践・評価を行い、基本的な看護

実践能力を身につける。また、実習体験を通して周産期における母性の特性と母性看護の役割について理解を深める。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
1 組の褥婦（または妊婦）を受け持ち、褥婦（妊婦）その子どもを全体としてとらえて、ウエルネスの観点から看護の必要性を考え、健康的な生活や適応・親役割取得を支援するための看護計画を立案する。また機能別実習として、外来や妊婦などのケアを体験し、妊娠から産褥を通して連続性として捉えることを意識づけた。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
母性看護発展セミナー（1 単位）4 年次前期

② 内容・ねらい
国内外のリプロダクティブヘルス＆ライツの視点から最近の課題について探求し、母性看護の役割や母子保健について理解を深める。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
国外を問わず、最近の話題や問題について医療・福祉、社会情勢など多方面から情報を収集し、女性の生涯にわたってリプロダクティブヘルス＆ライツを脅かしている問題を検討し、女性の健康課題と母性看護の役割・医療従事者としての視点について学習した。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
卒業研究（3 単位）4 年次通年

② 内容・ねらい
母性看護学領域に関するテーマで一連の研究手法を学ぶ。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
国外を問わず、自分の興味のある研究テーマを選び、文献検索から論文作成の流れを理解する。既習の学習を振り返りながら、各自の疑問を明確にしてゼミに臨んでもらった。個人ワークとグループワークを活用しながらモチベーションを維持し自発性を重視した。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
看護研究方法論 大学院 1 年前期

② 内容・ねらい
看護学領域における研究課題の明確化と概念枠組み、理論的思考等の重要性を教授する。また、研究課題に沿った研究デザイン、具体的な研究方法等の一連の研究プロセスを教授する。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
演繹的アプローチと帰納的アプローチの方法を身につけるために、研究を行うための文献の活用能力や研究を行うための理論的思考と論文作成の知識と方法を身につける。オムニバスで担当し、看護研究方法論を修得し、各自の研究方法の活用につなげる。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
看護理論 大学院 1 年前期

② 内容・ねらい
主要な看護理論にふれ、それらを基に看護の中心的概念について考究する。また、複雑かつ困難な看護現象に対して、看護理論を活用することによってその現象を明確にし、質の高い看護実践ができる能力を養う 。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
各看護理論の基本をオムニバスで教授し、理論と実践の統合をねらいとする。

(2)その他の教育活動

内容

４．研究業績

(1)研究業績の公表

① 著書

【0 本】

② 学術論文（査読あり）

１．Nobuyoshi Hashimoto, Kumiko Iwatani: An Evaluation system for hazard prediction in midwifery tasks using virtual reality, Journal of Nursing Science and Engineering), 11, 76-89, 2024.

２．吉田さとみ, 岩谷久美子: 臨地実習における日々の行動計画に対する実習指導者の指導の特徴と看護教員としての連携上の課題, 梅花女子大学紀要, 14:1-15, 2024.

【2 本】

③ その他論文（査読なし）

【0 本】

④学会発表等

１．島田啓子, 岩谷久美子, 助産学生のインシデント特性と指導者の役割～教育的視点から考える～, 第 40 回石川県母性衛生学会学術集会, 6 月 30 日, 2024.

２．藤平麻理子, 岩谷久美子, 渡邊友美子, 母性看護実習における産褥期の観察場面シミュレーションの実践報告, 第 4 回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会,2/18, 2023.

【2 件】

⑤その他の公表実績

１.「第 114 回看護師国家試験対策テスト 第１回」作成, メディカ出版６問/pp.76,77,94,117-119, 2024 年 3 月 25 日

２．2024 年度前期　公開講座「看護職リカレント教育」看護研究っておもしろい！研究のヒントがみつかるかも？！6 月,　2024.

３．2024 年度前期　公開講座「看護職リカレント教育」看護研究っておもしろい！研究のヒントがみつかるかも？！11 月,　2024.

４．滋賀県立大学地域ひと・モノ・未来情報研究センターICT 研究サロン成果報告書提出, 2024 年 2 月,p6-7

５．基盤研究 C（研究代表者）分娩時の助産師の危険認知と行動が自己観測できる仮想環境型教材の開発と評価,実施状況報告書

６．福井県立大学研究シーズ集, 2024, 3 月発行, p59

７．福井県立大学研究シーズ集, 2024, 10 月発行, p71

【7 本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

【学外】

1. 基盤研究 C（研究代表者）;臨床推論力を高める育児支援場面の双方向性に対応できる仮想環境型教材の発展と実証

(3)特許等取得

「バーチャルリアリティを用いた看護実習システム」特許申請中（JP2023-033978）

(4)学会活動等

５．地域・社会貢献活動

⑤　福井県母性衛生学会理事（2022 年 4 月～現在に至る） ⑤　北陸母性衛生学会理事（2023 年 11 月～現在に至る）

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
福井県立大学看護学科カリキュラム検討委員 福井県立大学教育研究委員・学科内教務委員 福井県立大学学科内 3 年主担任
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など
１．テーマ「胎児にかかる衝撃や圧迫の程度」, 全国キャラバン 3 QUESTIONS ‐ 北信越地区編 -,12/7－10,富山, 2024.